

## 16 年度 Q3 決算説明会 質疑応答要約

Q) Q3 の業績は、社内計画に対してどれくらい上振れたのか？

A) 売上収益は全社で約 30 億円の上振れ。ほぼ為替の影響によるもの。

事業セグメント利益は、全社で約 20 億円の上振れ。主に P&S 事業において、採算改善が進んだことや、経費の減少などにより、上振れとなった。

Q) プリンティング市場の各地域の需要状況に変化はあるか？

A) 主力のモノクロ LBP の市場に、大きな変化は無い。欧米とも緩やかな縮小が続いている状況。

競合環境についても、大きな変化は感じていない。

新興国・中国も概ね横ばい～ 1 桁前半%増程度で推移している状況。

Q) IT 関連を中心に、産業機器に回復の兆しがでてきているのか？

A) 10 月以降、IT・安定とも受注が回復傾向にある。IT 関連の先行きは依然として不透明ではあるが、自動車関連の取り組み強化の進捗含め、期待値は上がってきている。

Q) N&C の構造改革による来期収益への影響について教えてほしい。

A) 基本的に人件費の削減によるものだが、年間では 10 億円程度の費用削減ができると考えている。

以上